



	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内

入試情報

教育・学生生活

研究

社会連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

広報・報道

採用情報

校友会・同窓会

支援財団・基金

図書館・博物館等

大学病院

附属学校

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成17年1月-12月](#) > 第14回ペスタロッチャー教育賞 表彰式並びに記念講演のご案内

第14回ペスタロッチャー教育賞 表彰式並びに記念講演のご案内

報道機関各位

平成17年10月24日

国立大学法人 広島大学

情報化推進部広報課長

第14回ペスタロッチャー教育賞 表彰式並びに記念講演のご案内

広島大学大学院教育学研究科とペスタロッチャー教育賞実行委員会は、第14回ペスタロッチャー教育賞表彰式並びに記念講演を、下記のとおり開催しますのでお知らせいたします。

記

日時:平成17年12月1日(木)

13:30~14:00 表彰式

14:00~15:00 記念講演

場所:広島大学サタケメモリアルホール
東広島市鏡山1-2-2 TEL 082-424-6992

主催:広島大学大学院教育学研究科
ペスタロッチャー教育賞実行委員会

後援:(財)広島地域社会研究センター
中国新聞社

受賞者:日本ユニセフ協会大使 アグネス・チャン

○ [受賞者紹介](#)

○ [ペスタロッチャー教育賞について](#)

プログラム

- 開会の辞
- 主催者挨拶 ペスタロッチャー教育賞実行委員会委員長、 牟田泰三
広島大学長
広島大学大学院教育学研究科長 中原忠男
- 祝辞 (財)広島地域社会研究センター理事長 篠原康次郎
- ペスタロッチャー教育賞贈呈
- 記念品贈呈 中国新聞社代表取締役社長 今中 亘
- 記念講演 第14回ペスタロッチャー教育賞受賞者 アグネス・チャン
- 閉会の辞

【お問い合わせ先】

本賞及び受賞者に関すること
広島大学大学院教育学研究科 坂越
TEL:082-424-6731

表彰式、記念講演、会場等に関すること
広島大学教育学研究科部局長支援グループ
TEL:082-424-6707

広大公式アカウント一覧

Twitter

Facebook
(日本語版)

Facebook
(英語版)

YouTube

行事カレンダー

ストリートビュー

キャンパスカメラ

学内ポータル



広島大学

	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内 [トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成17年1月-12月](#) > 第14回ペスタロッチャー教育賞 受賞者紹介

入試情報 第14回ペスタロッチャー教育賞 受賞者紹介

教育・学生生活 **ペスタロッチャー教育賞 受賞者紹介**

研究 **日本ユニセフ協会大使 アグネス・チャン氏**

社会連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

広報・報道

採用情報

校友会・同窓会

支援財団・基金

図書館・博物館等

大学病院

附属学校

アグネス・チャン氏は、1955年香港に生まれ、1972年「ひなげしの花」により日本で歌手としての活動をスタートした。上智大学国際学部を経て、1978年カナダ・トロント大学(社会児童心理学)を卒業、1984年国際青年記念平和論文で特別賞を受賞し、翌1985年には国連世界青年年の催しに参加して中国北京でチャリティーコンサートを開いた。同年、エチオピアの飢饉に苦しむ難民キャンプを訪問したことが大きな契機となり、芸能活動のみでなく、ボランティア活動、文化活動にも積極的に参加するようになった。1989年米国スタンフォード大学大学院(博士課程・教育学)に留学し、1994年教育学博士号(Ph.D.)を取得している。

1998年日本ユニセフ協会大使に就任、タイ、スーダン、東西ティモール、フィリピン、カンボジア、イラク、モルドバなど、世界各地を訪問、取材し、その実状を講演活動やマスコミを通して訴えかけている。著書に『みんな地球に生きる人』(岩波ジュニア新書)、『戦争と平和 そして子どもたちは・・・』(オリコン・エンタテイメント)、『小さな命からの伝言』(新日本出版社)ほかがある。

第一にあげられるべき氏の業績は、「世界のすべての子どもたちに教育を」という願いをもって、世界の困難な状況におかれている子どもたちを訪問し、その窮状と支援の必要性を日本をはじめとする世界に訴えかけつづけている活動にある。1985年のエチオピア難民キャンプ訪問をはじめ、とりわけ日本ユニセフ協会大使就任後1998年にはタイの児童買春問題、1999年にはスーダンの「子ども兵士」の実態、2000-2001年には東西ティモールやフィリピンの紛争地域で危機的な状況にある子どもたちの姿や児童労働問題を現地での目の当たりにし、支援の必要性を強く提起した。2003年にはイラクを訪問、戦争の犠牲になった子どもたちの過酷な状況を、帰国後6日間のティーチインで訴えかけた。2005年には再びスーダンを訪れ、政府と反政府勢力の激しい衝突の中で184万人の難民(うち18歳以下130万人)が転々としながら暮らすキャンプの状況を視察し、支援の方法を調査してきた。戦争や貧困、飢えや疫病といった大人社会に起因する過酷な状況におかれた子どもたちに実際に接し、彼らに寄り添いながら彼らの悲痛な声、彼らの「生きる権利」を彼らに代わって訴えかける氏の功績は大きい。

またユニセフ協会大使としての体験に基づいた氏の講演やボランティア活動も日本の教育、子どもたちに多大で重要な意味を有している。氏の発信するメッセージは、世界の政治や経済の状況が子どもたちにどのような影響を及ぼし、いかなる深刻な問題を引き起こしているのかを知らせ、私たち一人ひとりが何をなすべきかを考えさせるものである。ひるがえって我が国の子どもたちのものがあふれた生活への問題提起にもなっている。実際に氏は、小学校等を訪れた場で「世界の子どもたちへの応援メッセージ」を提案し、学校へ行けない世界の多くの子どもたちの存在に目を向けること、今自分たちに何ができるのかよく考えることを日本の子どもたちに呼びかけている。

このように、戦争と貧困という大人社会の悪に立ち向かい、その過酷な状況の中で、生きる子どもたちの救済に取り組む氏の活動は、まさにペスタロッチャーがノイホーフの貧民学校やシュタンツの孤児院でめざした教育活動、精神に通じるものである。世界の子どもたちへの愛情に基づいたアグネス・チャン氏の真摯で献身的な活動並びにその多大な功績に対し、第14回ペスタロッチャー教育賞を贈呈し、高く顕彰したい。

(参考) **ペスタロッチャー教育賞受賞者一覧**

- 第1回受賞者 宮城 まり子 ねむの木養護学校校長
- 第2回受賞者 谷 昌恒 北海道家庭学校校長
- 第3回受賞者 児玉 三夫 明星学苑理事長、明星大学校、明星小学校長
- 第4回受賞者 山田 洋次 映画監督
- 第5回受賞者 NHK名古屋放送局「中学生日記」製作スタッフ
- 第6回受賞者 本吉 修二 学校法人白根開善学校校長
- 第7回受賞者 黒柳 徹子 ユニセフ親善大使
- 第8回受賞者 社会福祉法人 広島新生学園
- 第9回受賞者 丸木 政臣 和光学園学園長
- 第10回受賞者 佐野 浅夫 俳優
- 第11回受賞者 社会福祉法人 似島学園
- 第12回受賞者 九里 茂三 学校法人九里学園学園長
- 第13回受賞者 中野 光 日本生活教育連盟委員長、日本子どもを守る会会長

広大公式アカウント一覧

- Twitter
- Facebook (日本語版)
- Facebook (英語版)
- YouTube
- 行事カレンダー
- ストリートビュー
- キャンパスカメラ
- 学内ポータル

> [広島大学公式ウェブサイトについて\(サイトポリシー\)](#) > [プライバシーポリシー](#)

Copyright(C) 2003-2014 広島大学
 *電話番号・所在地
 <編集>: 広島大学広報グループ
 ✉ お問い合わせはこちら



広島大学

	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成17年1月-12月](#) > [ペスタロッチー教育賞について](#)

入試情報

[ペスタロッチー教育賞について](#)

教育・学生生活

ペスタロッチーとペスタロッチー教育賞

研究

広島大学大学院教育学研究科は、財団法人広島地域社会研究センターならびに中国新聞社の後援を受け、今日、我が国の極めて困難な教育状況の中で、優れた教育実践をおこなっている個人あるいは団体を顕彰するため、先のペスタロッチー賞の精神を継承し、ここにペスタロッチー教育賞を創設した。その趣意として、以下のことが挙げられる。

社会連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

広報・報道

採用情報

校友会・同窓会

支援財団・基金

図書館・博物館等

大学病院

附属学校

教育の荒廃が叫ばれる中、優れた教育を地道に実践し、「真教育」の原点を示している実践家ならびに団体を顕彰にすることは、これらの人々を勇気づけると共に、その活動を社会に広め、活性化させるために、極めて重要なことである。この賞は、混迷する教育の現実に対して、教育の原点を示し、我が国教育の立ち直りのきっかけにしようとするものである。その象徴としてペスタロッチーの名が称えられよう。ペスタロッチーは民衆教育の父であり、教育の実践家として、子どもへの限りない愛情と慈しみを身をもって示した教育者であった。同時に、多くの困難を克服しておこなわれた教育実践から編み出された教育思想・教育理論は、単に18、19世紀の所産としてではなく、常に「真教育」の象徴となり、今日に至るまで世界の教育を動かし、教育の原点を示すものと考えられている。とりわけ、本研究科には、大正10年以來の、ペスタロッチー研究および運動に関する長い伝統があることも忘れてはならない。

ペスタロッチーの実践・思想・理論には、今日の教育荒廃を克服するための方途を示す力があると確信される。ペスタロッチーの精神を教育の原点として捉え、優れた教育を実践している人々を顕彰することは、正に今日の教育にとって「地の塩」となる。

ヨハン・ハインリヒ・ペスタロッチー

JOHANN HEINRICH PESTALOZZI

スイスの教育家・教育思想家。1746年、チューリッヒに生まれる。チューリッヒの大学に学び、そこでルソーその他の革新的な啓蒙思想に触れ、政治の改革を求める学生組織「愛国者団」に入る。その後、農業を志し、アンナ・シュルテスと結婚、農業経営のかたわら、貧児・孤児の教育事業に着手する。1781年、教育小説『リンハルトとゲルトルート』を発表し、絶讃を博す。シュタンツでの孤児救済の活動を経て、1800年ブルクドルフ、1804年、イヴェルドンに学園を開く。『メーデの精神と心情』『ゲルトルート教育法』など、多くの著書を刊行する。学園は、多くの国々から参観の人々が集まり、教育実践研究のセンターとなって、ヨーロッパ、アメリカにペスタロッチー運動が広がる。1825年、弟子たちの内紛から、学園を閉鎖してノイホーフに退き、1827年、ブルックにおいて没す。81歳。

ペスタロッチー墓碑銘

ハインリヒ・ペスタロッチーここに眠る。
1746年1月12日チューリッヒに生れ、1827年2月17日ブルックに没す。
ノイホーフにおいては貧しき者の救助者。
「リンハルトとゲルトルート」の中では人民に説き教えし人。
シュタンツにおいては孤児の父。
ブルクドルフとミュンヒェンブーフゼーにおいては国民学校の創設者。
イヴェルドンにおいては人類の教育者。
人間！ 基督者！ 市民！
すべてを他人のためにし、
己には何物も。
恵みあれ彼が名に！

広大公式アカウント一覧



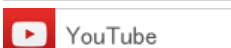
Twitter



Facebook
(日本語版)



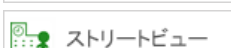
Facebook
(英語版)



YouTube



行事カレンダー



ストリートビュー



キャンパスカメラ



学内ポータル

[> 広島大学公式ウェブサイトについて\(サイトポリシー\)](#) > [> プライバシーポリシー](#)

Copyright(C) 2003-2014 広島大学
*電話番号・所在地
<編集>: 広島大学広報グループ
✉ [お問い合わせはこちら](#)